

令和6年1月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動・静養・食事のスペースごとにすごしやすいよう環境整備をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に適した職員配置をしています。利用表と勤務表にて職員配置を確認しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーになっています。定期的に設備点検をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員全員で話し合い、目標と実行、振り返りを繰り返すことで改善に繋がっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の思いや意見を大切に事業所内で課題を話し合い改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後評価を受けることを検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修計画を立て、外部研修と事業所内での伝達研修を行い、職員の技術と意識の向上を図っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの発達の状況を日々の観察と、保護者、学校、関係機関との情報交換をしてアセスメントし課題を設定しています。子ども本人の意思の汲み取りと保護者の希望を大切に各専門職で連携し計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達の領域表を使用して「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「家族支援」の各項目ごとにアセスメントをしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議の場や担当者間で活動について話し合い立案、実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節のイベントやレクリエーション等年間計画を立て工夫して行っています。その他の活動でも担当者間で話し合い、一人ひとりの得意なことを活かしたり特性に配慮した活動を考えて提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			毎月の職員会議で活動内容や支援方法等を話し合い課題を設定して実施しています。また長期休暇の前は特別に時間をとり月案や週案を作成し職員間で内容を共有してより良い支援を検討しています。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人一人の発達の状態とペースに合わせた個別活動、友達との関わりを感じられる集団活動を組み合わせで行っています。活動の体験方法についても子どもたちの力が最大限に活かされるよう工夫しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			打合せ時にはスケジュールや分担、留意点等の確認と情報の共有をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎朝のミーティングで前日の支援の振り返りを行っています。その中でご家庭からの情報、利用者の健康状態、活動の様子を共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用者の状態や支援内容を記録し、話し合い支援につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングと日々の支援から支援目標と支援内容の継続、変更等を検討し計画の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインや法制度等を確認しています。発達の視点をもち充実した活動内容を提供できるよう検討して支援をしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事業所内での情報をまとめ、児童発達支援管理責任者が主に相談支援事業所の主催する個別支援会議に参加しています。関係機関と連携し課題の解決に向けて取り組んでいます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			メールや学校での引き渡し時にお便りや通知をいただき、スケジュールの確認や行事予定等への対応、感染対策やトラブル発生時の対策等を協働して行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医からの医的指示書を提出していただき日常の処置、緊急事態等に備えています。また、月に1度嘱託医による診察があり、日常の健康状態を確認しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今までは相談支援事業所を通しての情報交換が主でしたが、今後は就学前後に児童発達支援事業所等と連携し、情報交換や見学の場を設けて理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業後に利用する事業所と支援内容等の情報提供をして、ご本人と家族が安心して移行できるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター、連携協議会等主催の研修や情報交換会に参加しています。新しい情報は事業所内で伝達しています。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	一緒に活動する場等は設けていません。散歩に出かけた際に公園で他のお子さんと挨拶を交わしたり、イベント等にきてくれた兄弟姉妹と触れ合う機会があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			相談事業所を通して情報等をもらっています。児童通所事業所が集まり情報交換や困りごとへの対応等を共有する機会があります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や毎日のお迎え時、電話連絡等でお子さまの様子や発達の状態に応じた課題について情報交換をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニング等の場は設けていませんが、必要に応じて情報等を伝えしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約締結時と、重要事項説明書に変更がある際に説明を行っています。その他に必要時に補足をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お迎えの際や面談の際に話をうかがい、内容に応じた対応を考え支援をしています。より適切な助言と支援ができるよう研修等に参加し向上を目指しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年度は5周年記念イベントにて、ご家族を招いての夏祭りを行いました。10月には保護者を対象に腰痛予防の体操や子育てについて話し合う場を設けました。負担なく参加していただける範囲で行いました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項の説明のときにお伝えしています。今後も定期的にお伝えしていきます。ご要望には事業所内で検討し迅速に対応しています。苦情などがあった場合は、法人の「苦情解決の仕組み」に沿って適した対応をします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動やお子さまの様子がわかるよう毎月お便りを作成し配布をしています。ホームページにも掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			守秘義務を職員間で確認し、決まりをもって個人情報の取扱いをしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人一人の意思表示を大切にし、状態に応じた方法で意思の疎通を図っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			日常の遊びにボランティアさんに関わっていただいたり散歩や展示会に出かけ地域の方々とふれあう機会を作っています。また、掲示物等による活動の様子の発信や法人内他事業所との交流を行っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			厚生労働省や子ども家庭庁の通知等に対応して、職員で話し合いマニュアルの内容を見直しをしています。改訂したものは保護者に伝えていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度避難訓練を実施し、年に2度施設総合防災訓練にて緊急連絡訓練や災害用伝言ダイヤルによる情報伝達訓練、備蓄の確認、消火栓や非常用発電機の操作方法等の訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、権利擁護や意思決定支援等について研修や話し合いをしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に対する研修をしています。車いす上で使用するベルトやテーブル等については、安全に座位をとるためや体の変形予防のための装具等と位置づけし使用についての確認をしています。また、体の負担の軽減対策を検討し、個別支援計画に記載して保護者様に説明しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医的指示書や保護者からの聞き取りにより管理栄養士と連携してアレルギー対応をしています。また症状が出た際の対処方法等を確認、訓練しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			レポートを作成し再発防止の対策を検討し実施しています。また、4半期ごとに集計し、対策の見直しをしています。